

手話で楽しく コミュニケーション

今出川

— 入門 — 通年・月曜3講時(13:10~14:40)

手話通訳士・京都府手話通訳者 桂 千草

手話は目で見ることです。手の動きだけではなく、顔の表情など身体全体で表わすろう者の大切なコミュニケーション手段です。

手話で簡単な日常会話や自己紹介や手話の言語的特徴を学びます。そして、外見からはその障害が分かりにくい聴覚障がいを理解し、相手を尊重し合理的な配慮ができるようになることを目指します。

手話を通し日頃のコミュニケーションをもっと豊かにできるように楽しく学びましょう。

■募集人数

初めて手話を学ぶ方 30名

※他大学学生・市民は15名まで

■テキストなど

今すぐはじめる手話テキスト『聴さんと学ぼう!』

(一般財団法人 全日本ろうあ連盟)

■必要な費用

テキスト代のみ

■注意事項

欠員が生じた場合、手話経験者であれば秋学期からの受講も可能です。

「入門」と「応用」の両方を同じ年度に受講することはできません。

遅刻、欠席についてはできるだけキリスト教文化センター事務室に連絡してください。



	回	講座内容	
春学期	1	ガイダンス、手話概論	あいさつ
	2	聴覚障がい概論	名前の表現、あいさつ、同志社大学、指文字
	3	耳の役割と聞こえのしくみ	みんなの名前の表現、指文字
	4	聴覚障がい者のコミュニケーション	手話で家族の表現、指文字
	5	聴覚障がい者と教育	手話で趣味の表現 指文字
	6	聴覚障がい者と情報	手話で数字の表現 指文字
	7	ゲストスピーカーの講義と手話で交流	
	8	聴覚障がい者と福祉制度	手話で仕事の表現
	9	手話サークル	手話で自己紹介(挨拶・名前・趣味・誕生日・仕事)
	10	まとめ	手話で自己紹介をしてみよう
秋学期	11	復習をしよう	手話で夏休みのできごとを話してみよう
	12	手話の歴史	手話で住所や出身地の表現
	13	聴覚障がい者と医療	手話で医療の表現(病気、ケガ、救急)
	14	聴覚障がい者と合理的配慮	手話で1日の過ごし方などを表現
	15	手話の言語的特徴	手話で1年・季節について表現
	16	ろう重複障がい者のコミュニケーション手段	手書き文字 触手話
	17	ろう運動の歴史	手話での疑問詞(いつ、どこ、なぜ、いくつ)
	18	ゲストスピーカー(ろう者)と話そう	
	19	自己紹介(身近な話、生活の話題)の練習	
	20	まとめ	手話で身近な話題を話してみよう